

5分でeライブラリ活用

ドリルで既習事項の復習

どのようなときに利用できるの？



先生

ドリルを提示して、児童生徒の間違いやすい問題をクラス全員に共有し、既習事項の復習をしています

使用教材

児童生徒メニュー：ドリル（ヒント・解答解説）

ねらい

既習事項の復習

展開



| | 学習内容（●先生 ○児童生徒） | eライブラリの画面 | 指導上の留意点 |
|----------|---|-----------|--|
| 事前準備 | <ul style="list-style-type: none"> ●提示するドリル教材を準備する <p>【自由学習】 自分で選ぶ>単元から探す</p> | | <ul style="list-style-type: none"> ・授業前に教材検索をしておく、授業でスムーズに提示できる |
| ドリル | <ul style="list-style-type: none"> ●問題と選択肢を読み上げて、児童生徒に解答を求める ○正解だと思ふ選択肢に挙手する | | <ul style="list-style-type: none"> ・大型モニタに提示するため、イラスト付きのドリル教材がおすすめ ※【先生メニュー】で各教材に収録されている全ての問題を確認できます |
| ヒント・解答解説 | <ul style="list-style-type: none"> ●授業の要点や間違いやすいところを説明する ○既習事項を振り返る ○ドリルの機能を使って効果的に学習する方法を知る | | <ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒が答えに詰まる場合は、【ヒント】を開きます ・【答え合わせ】後、不正解の問題は、【解答解説】を開きます |

利用している先生の声



- ・クラスの理解度に合わせて、基本・標準・挑戦から教材を選んで復習できました
- ・自動採点ドリルは、クイズ感覚で全員が参加するため、活発に手が上がりました
- ・ヒントをもとに思考させたり、解答解説を読んで理解を深めさせたりすることができました
- ・学習メモ・ヒント・調べる・解答解説の使い方を見せることで、児童生徒が自分で操作できるようになりました